

景観・環境に考慮した切断工法

ワイ・エム・ケー news

VOL. 3

ワイヤーソー
解体特集

X線検査
鉄筋探査
コアボーリング
ウォールソーイング
ワイヤーソーイング
道路カッター
アンカー工
地中探査

いろいろコツコツ
やっています。
わたしたちは

ワイ・エム・ケー



内事 ワイヤーソーによる 宮崎県 発電所サージタンク解体

高千穂峡の大自然を守る

1か月に及ぶ男たちの戦いが始まった

ワイ・エム・ケーは、宮崎県高千穂町にある高千穂発電所内のサージタンクの解体工事を行った。このサージタンクは八十年間にわたり発電所の稼働に携わってきた歴史ある建造物だ。

解体にあたり、環境に配慮した工法が必要となった。本現場は、国の天然記念物に指定されている名勝「高千穂峡」の上、約2kmの場所に位置している。通常の解体現場ではガラ粉塵が大量に発生するが、環境上それらを発生させたくない。また、山の上に位置する事から、そもそも大型重機の乗り入れができない。今回ワイ・エム・ケーに依頼があったのもその

◆細かく切断しながら順序良く撤去を行う。(工期中頃)



◆現場から高千穂峡を望む素晴らしい大自然が広がる



為であり、ワイヤーソーによる環境配慮型の工法を行う必要があった。大型重機を必要とせず、細かなコンガラを発生させず、汚泥を収集できる工法。まさにワイヤーソーならではの現場である。

鉄とコンクリの複合躯体 巨大なサージタンク概要

解体するサージタンクは高さ約9m・百六十六mの巨大な躯体だ。また、内側は鉄板で外側はコンクリート造の2重構造となっている。

その複合構造の躯体へ、切断後の吊り孔を二百七十六本穿孔し、ワイヤーソーでは七十四切断(切断m数二百二十m)しなければならぬ。

◆ワイヤーソーで切断後の断面



◆一切断毎ワイヤーソーセットを行う。



◆高千穂工事部隊4名



(左から岩崎・吉岡・元請新美様・田中・小澤)

鉄とコンクリの複合躯体 創意工夫で工期短縮

まずは二百七十六本の穿孔だが、前項の通り複合躯体の為、通常のコアビットの他、メタルビットを採用し、削孔時間を削減することにした。これによりコンクリートビットのみの仕様より一本当たり十分程作業を短縮することが出来た。

ワイヤーソー工事では搬出する全ての躯体重量もおおよそ計算通りに切断が出来、安全に工事を遂行。テーマであった高千穂峡の大自然を守るワイ・エム・ケー精鋭部隊四名の戦いがここに終了した。